

カーボンニュートラル実現に向けた要望(26年版)

2026年8月
(一社)日本建設機械工業会

平素、建設機械産業界が大変お世話になっております。
この度、2021年度以来、第6回目となる要望のとりまとめを行いました。

これまでの要望内容については、政府のGX推進戦略(24年12月閣議決定)に基づき同月に改訂された「分野別投資戦略」に建設機械が自動車とともに16の重点分野の一つとして明記いただきました。これにより総額20兆円のGX経済移行債の支援対象となるとともに、関連する規制・制度面の措置も一体的に講じることとされました。さらに第7次エネルギー基本計画(25年2月閣議決定)においても建設機械が支援対象として明記されました。

それ以外にも実現に至った事項も多く、政府・関係組織において真摯にご検討、ご対応いただき感謝申し上げます。

本年度は上記政策の進展を踏まえつつ、下記の三つの観点から従来の要望書を大幅に簡素化して、CN実現に真に必要な事項のみを取りまとめました。

- ①既に実現した、または一定の方向性が示された事項は削除
- ②CN実現に間接的には貢献するが、直接的ではない事項は削除
- ③優先度の特に高い事項のみを整理して記載

税制・補助金等政策的支援の継続・拡充、中小企業に対する配慮とともに、国際競争上の観点や施策検討・実施の際の業界との十分な意見交換が必要であるとの基本的考えは現時点においても変わっておりません。

建設機械産業及びその活用場面でのカーボンニュートラル実現のため、本内容を今後の政策検討の際に是非御活用いただくようお願い申し上げます。

(参考)建設機械業界及び工業会の概観

1. 業界概要

- ・ 国内生産出荷額：3.5兆円(うち輸出2.5兆円) [25年度、建機工自主統計]
- ・ 海外生産を含む日系メーカー売上額：7.6兆円、世界におけるシェア20.5%(注)
[25暦年、建機工推計]

(注)売上額ランキングtop50社における金額及びシェア。国別で世界第2位。

2. 日本建設機械工業会について

- ・ 会長：先崎 正文(日立建機株式会社 代表執行役 執行役社長兼取締役 COO)
- ・ 会員数：正会員60社、賛助会員59社(26年7月現在)

カーボンニュートラル実現に向けた要望(26年版)

2026年8月

(一社) 日本建設機械工業会

【全体論】

GX 実行計画における重点支援分野に記載された施策の着実かつ早期の実現
(GX 建機研究会で提示された各種施策の実現)

【個別論】

第1章 電動建機

1. 支援措置の充実(予算・税制による施設整備、技術開発等への支援)

- 電動建機の開発が進み、市場の普及に伴い量産化が実現するまで、電動建機メーカー並びにコンポーネントメーカーの研究開発の支援、補助金、税制による購入支援の継続
- 大容量可搬式充電設備に関連する研究開発支援、補助金、税制による購入支援の継続並びに充電設備の設置に必要な高圧受電設備含めた充電設備単独の購入支援の拡充
- 大型の建機を受入れ可能な公的評価試験機関を全国的に普及させるための支援
- 再生可能エネルギー電力活用の際の補助率の引き上げ
- 夜間大量充電を可能とするインフラ整備並びに夜間電力料金の補助
- バッテリーの劣化を抑えるために必要な推奨保存温度を維持する低温倉庫の購入補助

2. 国際的整合性のある規格化・標準化、規制の見直し

- 全国一律の大容量可搬式充電設備の運用ルール(簡易的な設置・移動、保安、保管、運搬、管理等)の整備
- 政府主導による建機用電池のリサイクル、リユース等を進めやすくする制度の

整備並びに電池の品質評価基準の整備

- 電池（中古建機に搭載されているものを含む）の輸出入に関する各種規制や手続きの整備・簡素化

第2章 水素活用建機

1. 支援措置の充実（予算・税制による施設整備、技術開発等への支援）

- 水素建機の開発が進み、市場の普及に伴い量産化が実現するまで、水素建機メーカー並びにコンポーネントメーカーの研究開発の支援、補助金、税制による購入支援の継続
- 水素の安定供給並びに建機用の水素ステーションの整備

2. 国際的整合性のある規格化・標準化、規制の見直し

- 日本の建機メーカーが水素建機の開発を進めやすくするために必要な国際的整合性のある規格化・標準化、ガイドラインの整備及び高圧ガス保安法を中心とした世界的に厳しい水素の輸送、貯蔵、使用に関する各種規制の緩和

第3章 次世代燃料の利用

- 次世代燃料（バイオ燃料、合成燃料）の安定供給の実現並びに資源エネルギー庁を中心に議論が進んでいる次世代燃料の品質確保、規格化、税制上・法令上の位置付けの明確化

第4章 国内外の需要創造、全体論

1. 建設機械生産・製造におけるカーボンニュートラルの支援

- ペロブスカイト太陽電池の生産体制整備支援と、特色を考慮した設置、運用、廃棄の際に必要な各種法令、基準等における自治体間の統一的整備
- 再エネ由来のグリーン電力調達における優遇的単価の提供等支援措置の導入と、新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業（環境省）の継続的な支援
- 太陽光パネル設置のための建物補強工事、維持への補助導入

- 太陽光発電補助金についての公募から設置期限までの期間延長(複数年対応)の継続

2. 国内外の需要創造

(1)国内需要の拡大

- GX 建機認定制度の対象機種の更なる拡大に向けた認定基準の簡素化並びに水素、次世代燃料を活用する建機の認定も想定した制度の拡充の検討
- GX 建設機械の導入によるインセンティブ補助や税制優遇、評価ポイントの付与、ディーゼル燃料費との差額についての支援
- 経営事項審査におけるGX 建設機械の保有及び活用実績による評価(工事の発注要件化、加減点の導入)
- 工事コスト増大に対する工事単価の見直し等インセンティブの導入
- CO2 削減量の評価基準の策定とそれに基づく評価ポイントの付与、環境に配慮した建機使用を義務付けたモデル事業の実施、タイムラインの設定
- 商用車等の電動化促進事業における補助金の継続並びに水素、次世代燃料を活用する建機の補助も想定した拡充の検討

(2)海外展開の支援

- 「インフラシステム海外展開戦略」のカーボンニュートラルへの貢献の部分に、建設機械・土木分野を追加し、具体策を検討
- ODA 及び公的ファイナンスによるインフラ整備、GX 建機支援の実施・拡充
- 電動建機に関する国内関税分類(HS コード)の新設

(以 上)